

林業ミニ情報 No.175

令和7年3月

- 1 森林・林業協会主催の林業就業支援研修で「VRチェーンソーを使用した
林業機械の操作体験」を実施 1
(笠間林業指導所 高橋)
- 2 異業種からの特用林産物生産業への参入について 2
(土浦林業指導所 古谷)

R 6. 林業ミニ情報（令和 7 年 3 月）

（笠間林業指導所 高橋）

タイトル	森林・林業協会主催の林業就業支援研修で「VR チェーンソーを使用した林業機械の操作体験」を実施
年 月 日	令和 7 年 2 月 1 7 日（月）
場 所	茨城県 JA 会館 本館 4 階第 1 会議室
内 容	令和 7 年 2 月 17 日に、県内で林業への就職を希望する 6 名に対し、森林・林業協会（以下、協会）主催で林業就業支援研修が行われました。その中で、当指導所では、他の林業指導所と連携して、VR チェーンソーを使用した三次元空間上での伐木体験を実施しました。 研修会では、冒頭に協会からパネルを用いて受け口、追い口等の伐木手順等を説明した後、指導所職員による指導のもと、VR チェーンソーによる一連の作業過程や、かかり木処理、幹割れ等の実際に起こり得る林業労働災害 8 事例をそれぞれ体験してもらいました。 はじめは様々な災害事例に戸惑いながら体験していた参加者も、徐々に、周囲の状況からこれから起こる災害事例を予想できるようになり、どのようにすればより安全に作業できたかを各自で考えて体験後に参加者同士で話し合っている様子が印象的でした。 参加者からは「VR チェーンソーによる三次元空間での伐木体験をしたことで、伐木手順が理解しやすかった」、「労働災害事例を体験したことで、より安全意識が高まった」など、様々な感想がありました。 足場の悪い山の中で、チェーンソー等を用いて立木を伐倒する林業は労働災害の発生率が高く、その中でも伐木作業中の災害は特に多い状況となっていることから、参加者の安全意識を高める大変有意義な研修会となりました。 パネルを用いて伐木手順を説明している様子 VR チェーンソー体験の様子
普及成果	今回の操作体験を通して県内で林業への就職を希望する参加者に対し、労働災害防止の意識を高めることができました。当指導所では、今後も VR チェーンソーを活用した体験を積極的に実施することで労働災害事例の把握や未然防止につなげていきたいと思ひます。

R 6. 林業ミニ情報（令和7年3月）

（土浦林業指導所 古谷）

タイトル	異業種からの特用林産物生産業への参入について
年 月 日	令和7年3月
場 所	つくば市内
内 容	当指導所管内に事務所を置く(株)東京電機は、非常用発電装置の製造・販売を主な業務としていますが、新規事業の一つとするため、現在、きのこ栽培の事業化を目指しています。 ササクレヒトヨタケ、ヒラタケ等のきのこを組み合わせ、年間を通して収穫できる栽培手法を検討する中、夏～初秋に発生するきのことしてニオウシメジに着目し、令和5年度から試験栽培に取り組んでいます。他社から購入した菌床ブロックや県林業技術センターの生産者支援施設を利用して自ら作成した菌床ブロックを伏せ込んでおり、令和6年度には、前年度の試験栽培での経験を活かし、様々な工夫を凝らして栽培を実施しました。 地面に直接伏せ込む栽培方法では、人が立ったまま作業ができるように背丈の高いビニールハウスを建て、さらに、湿度確保と虫よけを兼ねてハウス内にハーブ等の植物の葉が生い茂るように一緒に栽培しています。 プランターでの栽培では、自動散水できるビニールハウスを建て、ハウス内にパイプで棚を作成し、宙に浮かせるようにプランターを設置しています。 また、収穫されたニオウシメジで、地元の老舗旅館で試食会を開催し、味の評価や調理方法の検討も行うなど、今後の一般販売に向けた情報収集も積極的に行っています。  植物が生い茂る中で栽培 する様子  宙に浮かせたプランター 栽培の様子
普及成果	当指導所では、生産者支援施設を利用した栽培指導や最新の研究成果の提供等により、引き続き支援したいと考えています。